



限りある資源と美しい自然を大切に

MODEL VR-5710

ボールタックテスター

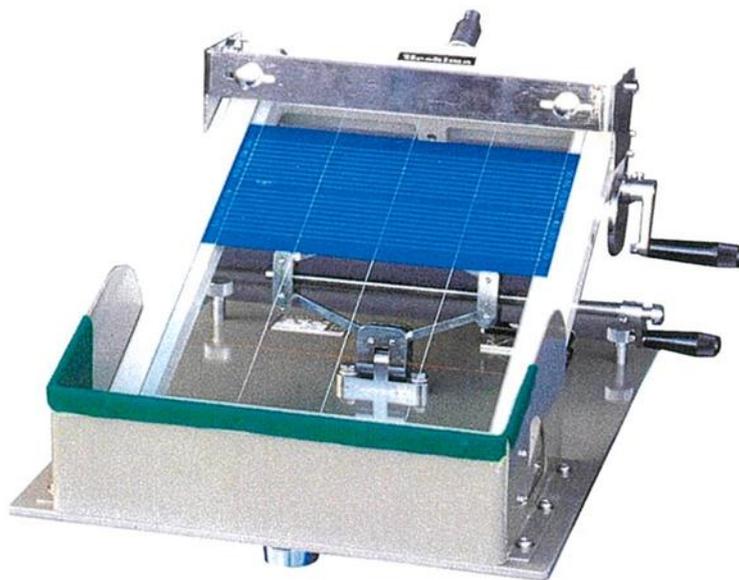
BALL TACK TESTER

概 要

JIS Z0237を参考とし、粘着テープなどの初期粘着力、接着力を簡便に測定します。

傾斜したガラス板上に粘着テープなどをセットし、その上に種々の大きさのボールを転がし、どの大きさのボールが粘着テープ上で停止するかで粘着力を評価します。

傾斜角度は 20° から 40° の間で調整でき、ボールは31種類の大きさのものが付属しますので、精度の高い試験が簡単に行えます。



MODEL VR-5710



QMS.EMS
JIS Q 9001, JSAQ1320
JIS Q 14001, JSAE1529

MS
CM001

株式会社 上島製作所

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD

特 長

- ガラス板の傾斜角度は目盛板により20°～40°の間で1°単位で設定できます。
- ボールは100mmの助走後に粘着面に接触しますが、どの大きさのボールでも助走距離が一定になるようにスタート位置を調整できます。
- 同一試料に対し何回かボールを転がす試験なので、ボールの走路を変える機構を備えています。そのため、同一試料で数回の試験が可能です。
- 傾斜ガラス下部にはクッション材を貼り、ボールの損傷を防いでいます。
- 機器に水準器を付属し、簡単に水平調節ができます。
- 傾斜角度はネジ式ジャッキにより、わずかな力で設定できます。

仕 様

1. 参考規格	JIS Z0237 (粘着テープ・粘着シート試験方法)
2. 試料数	4枚同時試験が可能
3. 試料寸法	幅10～15mm、長さ約300mm
4. 付属ボール	材質：JIS G4805に規定された高炭素クロム軸受鋼鋼材の2種 大きさ：JIS B1501に規定された“ボールの呼び”の1/16から1までの大きさのうち、5/64、7/64、9/64、15/64、17/64を除いた合計31個
5. 傾斜ガラス板	厚さ5mm
6. ボールのスタート	傾斜ガラス板上でボールを止めているゲートを手動で開放
7. 試験方法	ボールが助走を終り、試料と接触する100mmの間で停止（5秒間以上ボールが動かないこと）するようなボールのうち最大のものを見出す。最大のボールとその前後の大きさのボールを1回ずつ計3回転がし、見出したボールが測定規定に当てはまる最大のボールであることを確認する。
8. 試験結果	JIS B1501の“ボールの呼び”の32倍をボールナンバーといい、試験結果は見出した最大のボールナンバーで表し、3枚の試験片の平均値を整数以て求める。
9. 外形寸法	500（幅）×340（奥行き）×300（高さ）mm
10. 付属品	ボール1セット（31個）

UESHIMA SEISAKUSHO CO., LTD.

株式会社 上島製作所

本社・工場 ● 〒186-0011 東京都国立市谷保 6-5-22
TEL. 042-572-1397 FAX. 042-573-1520
E-mail: sales@ueshima-seisakusho.com
大阪営業所 ● 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 1-3-14
(橋本ビル 402)
TEL. 06-6942-1631 FAX. 06-6942-9702

<https://www.ueshima-seisakusho.co.jp>

■UESHIMA 製品に関するご意見、ご質問、見積等のご請求、お問い合わせ